

# 姫路赤十字病院だより



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



## contents

- 放射線治療再開
- 新乳房撮影装置導入
- 心臓血管外科手術スタート
- 外科オープンオペ開催
- 診療科の紹介 泌尿器科・病理診断科
- FAX 紹介手順
- 赤十字救護員辞令交付式
- 第4ブロック合同救護訓練参加
- 専門・認定看護師紹介
- 地域医療従事者スキルアップ研修会開催
- 地域連携カンファレンス研修会開催
- 研修会開催予定一覧

Vol. **5**  
2014.7

お知らせ

## 放射線治療を再開 新治療装置稼働



本年6月より新規放射線治療装置であるVarian社製・CLINAC iXが稼働しています。この装置は、より細やかな照射野設定が可能となる5mm幅マルチリーフコリメータや診断用X線撮影装置を搭載し、治療装置を回転することで横断CT画像も撮影できます。これにより治療部位の正確な把握が可能となり、治療計画時の画像と治療直前に撮影した画像を重ね合わせることで照射位置の誤差を微調整できます。この方法を画像誘導放射線治療 (Image Guided Radiation Therapy: IGRT)と呼び、毎回の治療を

再現性良く行うことで病巣に対して、より正確に照射することが可能となります。装置に合わせて治療室の遮蔽を強化し、照射可能線量が大幅に増加しています。また周辺機器としては、治療計画装置および線量検証機器の更新、放射線治療情報システムおよび画像融合システムの新規導入を行っています。

放射線治療は、がん診療において低侵襲的集学治療として年々その需要は高まっています。がん治療の3本柱の一翼を担うべく、より高精度・安全・確実な放射線治療を行うことをスタッフ一同心がけてまいります。

(放射線治療科部長 武本 充広)

ZOOM  
UP

## 新乳房撮影装置を導入

平成26年4月よりトモシンセシス機能を搭載したFPD乳房撮影装置が導入されました。

トモシンセシス撮影とは、乳房を角度を変えて複数の方向から撮影し、収集した画像データを三次元的に再構成することで乳房を1mm毎のスライスでより詳しく診断することができる最新技術です。トモシンセシス画像では、乳腺内に隠れて見えなかった病変をスライスすることで確認することができ、また腫瘍の辺縁、しこりなども容易に確認することができます。

当院の乳房撮影装置は、高速タイプ(県内2台目)のトモシンセシス撮影が可能で、通常のマンモグラフィとトモシンセシス撮影が、10秒程度の1回の圧迫で両方撮影することができます。

マンモグラフィ検査は、乳がんの早期発見には欠かすことができない検査ですが、圧迫時に痛みを伴うことがあり、患者さまには敬遠されがちな検査です。そこで最新乳房撮影装置の導入とともに乳房撮影室の環境も整えました。少しでもリラックスして検査を受けていただけるように内装にこだわり、検査は患者さまと女性技師(マンモグラフィ撮影認定技師4名)の1対1で落ち着いた空間で行なえるように安心感のある乳房撮影室になりました。

これからもますます増加していくと思われる乳がん診療に高い技術で貢献できるように努めていきたいと思っております。

(マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 萩原 紗弓)





## 心臓血管外科手術スタート

この春より、姫路赤十字病院で心臓血管外科手術がスタートしました。

循環器疾患に関し、これまでの診断、薬物およびカテーテル治療から、さらに外科手術治療に至るまで包括的な対応が可能となりました。これにより、地域の先生方が治療に難渋されていた重症弁膜症や虚血性心疾患、たまたま見つかった胸部および腹部大動脈瘤など、今まで以上に当院循環器疾患の窓口である循環器内科へご紹介いただけると幸いです。さらに、下肢静脈瘤や透析用シャントの作成・修復などの末梢血管外科治療につきましても対応可能ですので、お気軽にご相談ください。ご存じのように、これら心臓血管外科治療を行うにあたり、多大なマンパワーが必要であり、現在、岡山大学心臓血管外科医局の全面的な支援をいただきおります。今後も心臓血管外科手術にかかわる「チーム」の成長・熟成とともに心臓大血管救急症例への緊急手術、大動脈疾患に対するステントグラフトなどの低侵襲治療にも対応できるよう院内体制を整えていきたいと存じます。

ご紹介いただく患者さんが「安心」「安全」に手術を受けていただき、「元気」に先生方のもとへ戻っていただくことを目標に、確実な心臓血管外科治療を行っていききたいと思います。

(心臓血管外科部長 毛利 亮)



## 外科オープンオペを開催

当院外科主催の招聘手術見学会は全国で活躍する第一線の内視鏡外科医を招いて、当施設および近隣施設の先生に直接手術を見学して頂き、その後のカンファレンスでディスカッションを行い親交と知見を深める目的で行っている会です。第1回は岩手医大外科の大塚幸喜先生に直腸癌手術を、第2回目は藤田保健衛生大学の宇山一朗先生に胃癌手術を行って頂き、3回目となる今回はがん研究センター東病院の伊藤雅昭先生に直腸癌手術を行って頂きました。当日は院外からの見学者が21名あり、手術室のキャパシティを心配しましたが、当院自慢の巨大モニター4台と術中の伊藤先生の声がよく通ったのもあり全く不自由さは感じませんでした。大勢のギャラリーを物ともせず更には困難症例で有ったにも拘らず手術は滞りなく進み、その後のビデオカンファレンスでも活発な議論が行われ参加者からは大変勉強になったと好評でした。また当院の若手外科医にとっても非常に刺激になったようです。今後も当院のみならず西播地域の手術、診療レベル向上のためにも継続して行っていききたいと思います。

がん研究センター東病院  
伊藤雅昭先生



(内視鏡外科部長 松本 祐介)

診療科の紹介

# 泌尿器科

【スタッフ紹介】

- 小川 隆義 副院長兼第一泌尿器科部長  
(昭和54年卒/尿路性器腫瘍 尿失禁)
- 松原 重治 第二泌尿器科部長  
(平成5年卒/泌尿器科一般 腹腔鏡手術)
- 近藤 有 第一泌尿器科副部長  
(平成13年卒/泌尿器科一般 腹腔鏡手術)
- 原 琢人 医師  
(平成21年卒/泌尿器科一般)
- 坂本 茉莉子 医師  
(平成23年卒/泌尿器科一般)



## 当科の診療方針

当科では腎・尿路、前立腺、副腎、精巣の腫瘍を中心に、感染症、結石、泌尿生殖系機能障害といった問題に総合的に対応させて戴いています。高齢者の増加により前立腺を始めとする当科で扱う癌は増加傾向にあります。また結石性腎盂腎炎といった尿路通過障害に起因する感染症もよく見られます。

腎・副腎関係は腹腔鏡手術、前立腺癌はロボット支援腹腔鏡手術を中心に、また前立腺肥大症にはレーザーを使用するの内視鏡手術(HoLEP)、結石にはESWLか尿管鏡下レーザーを使用するの内視鏡手術(TUL、f-TUL)などと手術は内視鏡手術が中心となってきました。特に平成25年7月に導入したロボット(ダ・ヴィンチ)支援腹腔鏡手術は県下でも4台目(全国で約100台目)というものであり、ほぼ毎週1例のペースで手術を行っています。まだ保険適応が前立腺癌しかなく、当科が各科の先陣を切って開始させて戴きましたが、これからの適応拡大が期待されるところです。

この他、高齢者に多い頻尿、排尿困難、尿失禁、また小児の遺尿症、停留精巣、陰嚢水腫、精巣捻転等にも適切に対応させて戴いています。

## 地域の医療機関の先生へ

平成26年4月から1人増員の5名体制で診療を行っています。紹介患者をなるべく優先しての診察を心掛けていますが、予約患者もあり当院のFAX初診制度をご利用戴けましたら待ち時間の短縮になると思います。また、緊急性のある問題には出来るだけ速やかに対応させて戴きますので、電話でも結構です、ご相談戴ければ幸甚です。

(副院長兼第一泌尿器科部長 小川 隆義)

### 平成25年度 診療実績

手術件数	
腎摘出術	16例
(うち腹腔鏡手術)	11例
腎部分切除	7例
(うち腹腔鏡手術)	2例
腎尿管全摘	8例
(うち腹腔鏡手術)	4例
前立腺全摘	54例
(うちロボット支援)	21例
腹腔鏡下副腎摘除	3例
膀胱全摘	6例
TUL、f-TUL	63例
ESWL	153例
TUR-B t	167例
HoLEP	23例

診療科の紹介

# 病理 診断科

## 【スタッフ紹介】

和仁 洋治 病理診断科部長  
(平成7年卒/外科病理学)

内野 かおり 医師  
(平成16年卒/外科病理学)



## 当科の診療方針

姫路赤十字病院で臨床各科から検査、治療のため採取・摘出される症例の組織、細胞のほぼすべての診断を院内で行っています。当院の特性から、消化器・乳腺・婦人科・口腔領域の症例の診断が多いですが、それ以外の全身臓器の診断も行っています。

種々の染色されたスライドガラス標本を見るだけでなく、(分子生物学的検査を含む)臨床データや画像所見を参照し、臨床医とのディスカッションを通じて、治療に直結する正確で丁寧な診断を心がけています。

常勤病理専門医2名・非常勤医師2名の体制で、標本のダブルチェックにより、診断の精度管理を施行しています。

更に、臨床科との定期的なカンファレンス、CPCやキャンサーボード等を通して、当院の医療全体の質の向上に貢献すると同時に、我々自身の病理診断の精度向上に役立てています。

また、研修医・修練医・看護学生には病理学的素養を積んでもらえるように教育にも力を入れています。

## 地域の医療機関の先生へ

当院に患者様をご紹介下さる際に、貴院にて病理検査がありましたら、報告書のみならず、必要に応じてガラス標本(プレパラート)もつけて頂けると有り難く存じます。

標本は、当科で確認・診断後にご返却いたします。

(病理診断科部長 和仁 洋治)

## 診療実績

### 【平成24年】

組織診件数 (迅速件数)	9,218件 (338)
細胞診件数	10,073件
病理解剖数	11件

### 【平成25年】

組織診件数 (迅速件数)	8,263件 (352)
細胞診件数	9,396件
病理解剖数	9件

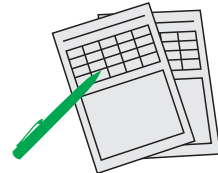


## 患者様の紹介手順

地域医療連携課では、医療機関の先生方からご紹介いただく患者様の初診FAX予約を実施しています。あらかじめ、患者様の診療情報提供書をFAXいただくことによって、当日の診療待ち時間の短縮を目指しています。

**1 医療連携FAX予約送付票をお書きください。**

※ホームページよりダウンロードできます。  
(FAX送信日当日の予約はできません。)



**2 地域医療連携課にFAXしてください。**

※保険証・公費医療証のコピーを合わせて  
FAXして頂いた場合は、保険情報の記入は不要です。



**FAX番号 079-299-5519**

**3 地域医療連携課よりFAX送信します。予約票をお受け取りください。**

(お時間がかかる場合がございます)



**4 診療情報提供書及び予約票を患者様にお渡しください。**

(当院は、診療情報提供書の原本が必要です)



- 診療科により、一部有料予約となります。(形成外科・産婦人科一部)
- 診療科、診察日、医師の指定がある場合は、FAXの際にご記入ください。確認のうえ、お返事します。なお、医師指定のできない科がございます。
- FAXは、診察日前日の午後5時(月曜日に診察の時は金曜日、前日が休日の場合はその前日)までのものは、予約票で対応いたします。
- 診察日前日の午後5時以降に届いたものについては、ご予約をお取りできません。
- なお、患者さまの診療情報提供書をいただいても、あらかじめFAXによるご予約がなければ、一般の初診患者さまと同様にお待ちいただくこととなります。また、状況によりご予約がお取りできない場合がございますがご了承ください。
- お電話によるご予約はお受けしておりません。また、予約の可・不可のご確認はご遠慮ください。
- 診療科によりましてはご予約票の返信にお時間をいただく場合がございますが、ご了承ください。また、医師があらかじめ情報内容の確認をできない場合がございます。

予約日の変更はお受けできない場合がございますので、あらかじめ患者さまの受診可能な日をお申し付けください。また、患者さまからの変更は、お受けしておりません。キャンセルのみとさせていただきます。

## 患者様への利点

- かかりつけ医の先生と当院医師との連携が良いので安心
- 紹介状を持って来院された場合には、  
病院での初診時選定療養費(3,000円税別)が徴収されません
- 症状に応じた適切な専門医が、担当します
- 初診申込書を記載せずに手続きがスムーズ
- かかりつけ医から病院の予約が取れ、当院での待ち時間が最小限となる

## 地域医療連携室 業務内容

地域医療連携室では、地域の医療機関との連絡を密にし、相互の診療や患者様の紹介・逆紹介についてのお問い合わせや調整を行います。

### 主な業務内容

- 紹介患者に関する地域医療機関との連絡調整業務全般
- 紹介患者の受入登録情報管理業務・紹介元医師の入院患者訪問の受付業務
- 退院調整
- 患者相談支援業務
- 研修企画・運営業務

### 業務時間

- 平日 8:30～17:00
- 休診日 土曜日／日曜日／祝日／日本赤十字社創立記念日(5月1日)／  
年未年始(12月29日～1月3日)

### 連絡先直通

- 電話 079-299-5514
- F A X 079-299-5519
- 住所 〒670-8540  
姫路市下手野1-1 2-1 姫路赤十字病院 地域医療連携室

## 地域医療連携室 スタッフ紹介

地域の先生方のご要望にお応えできるよう、  
スタッフ一同頑張っております。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。



奥新地域医療連携室長、森下地域医療連携副室長、総合相談支援課、  
地域医療連携課メンバー

## 災害拠点病院としての取り組み

### 赤十字救護員の辞令を交付



日本赤十字社の使命として、災害救護活動は主たる事業の一つであることは既にご承知のことと思いますが、災害発生時に迅速に対応するため、兵庫県内の赤十字各施設（病院、血液センター等）の職員の中から毎年救護活動要員が選出され、日本赤十字社救護員として日本赤十字社兵庫県支部長（井戸敏三）から辞令を交付します。

本年度当院からは、災害時現場に出動する「救護班員」、資機材の準備や設営を行う「支援要員」、救護班に帯同する「こころのケア要員」、災害救護訓練の企画運営を行う「救護員指導者」、災害拠点病院の初動救護要員である「兵庫DMAT要員」など総勢78人に日本赤十字兵庫県支部事務局長より辞令が手渡されました。

任命された救護員は各々の役割を理解し、今年1年間さらに訓練や研修に取り組みながらスキルアップを行っていきます。

（社会課長 大西 勝彦）

### 日本赤十字社第4ブロック合同救護訓練に参加



平成26年5月31日、第20回日本赤十字社第4ブロック（近畿2府4県）合同救護訓練が兵庫県広域防災センター（三木市）で行われました。当院からは救護班だけでなく、傷病者役として看護学校の学生も参加しました。訓練想定は、「5月30日から31日未明にかけ、猛烈な台風の通過に伴い、東播磨、北播磨地域に豪雨をもたらし、三木市を流れる美嚢川、志染川が氾濫、市街地を中心に甚大な被害が発生。日本赤十字社兵庫県支部は、台風通過の31日午前7時に、兵庫県広域防災センターに設置された三木市現地災害対策本部を参集場所とし、管内救護班の出動を指示するとともに、第4ブロック代表支部の大阪府支

部に本部支援要員の派遣と第4ブロック各府県支部救護班の派遣要請を行った。」というものでした。

災害時医療対応の原則はCSCATTTとされています。Command & Control（指揮と統制）、Safety（安全）、Communication（情報伝達）、Assessment（評価）、Triage（トリアージ）、Treatment（治療）、Transportation（搬送）の略です。今回は、災害対策本部や救護所の運営だけでなく、避難所巡回診療による情報収集、伝達訓練といったCSCAに重点を置いた災害救護訓練でした。

近年、「今まで経験したことのないような集中豪雨」による被害が各地で頻発しています。当院は南海トラフ巨大地震のような大規模災害だけでなく、このような風水害に対しても、実践的な訓練を行っています。

（災害医療・予防等対策委員長 八井田 豊）



### ■ 小児救急看護認定看護師

姫路赤十字病院は、小児病床50床を有し、姫路市を中心とする兵庫県中・西播磨地域の小児医療の基幹病院として、小児救急などの急性疾患の患者さんを二次救急病院として24時間365日対応しています。

小児病棟をはじめ、小児科外来、ICU、救急外来で勤務する中、入院中に急変する子どもたちや、外来において、受診する多くの患児にまぎれている重症な子どもたち、時にはCPAとなり不運な経過を辿ってしまう子どもたちと多く関わってきました。

このような経験をしていく中で「看護師としてできることは何か?」と自問自答し、迅速かつ的確な判断と行為を身につけることで子どもたちの健やかな成長の手助けになるのではないかと思い、小児救急看護の世界に飛び込みました。2012年に小児救急看護認定看護師に認定を受け、現在は救急外来における院内トリアージはもとより、診療報酬の対象ではありませんが、一般小児科外来での院内トリアージの実施も必要と考え、導入に着手しています。また当院小児病棟には人工呼吸器管理を必要とする子どもも多く入院するため、小児の呼吸ケアなどについてスタッフと共に考え、指導や相談を通してより良いケアを目指して日々取り組んでいます。

小児病棟のスタッフは明るく元気で、大好きな子どもたちのために日々頑張っています。

(不田 貴希)



### ■ 感染管理認定看護師

平成24年に感染管理認定看護師の認定を受けてから2年になります。最初は小児病棟の感染対策を行う事がきっかけで興味を持ち始め、現在は内科・泌尿器科・脳神経外科の混合病棟に所属し、日々の感染対策に携わっています。

感染管理とは患者・家族だけでなく、医療に関わる全ての人の感染予防・対策に繋がるような事を実施していくという役割があります。実際の現場ではパソコンの前に座っていることが半分以上ですが、院内のラウンドや相談を受けたことを基に今後の対策に繋がらないかと頭を悩ましています。感染管理の仕事は直接患者さんに関わる事が少ないですが、病棟スタッフとして現場で働いている事で実際にケアをしたりスタッフの動きを見る事ができます。少しでも感染に困る人を減らすため、病棟内では役割モデルとして、院内では指導・相談役として頑張っていますのでこれからもご協力よろしくお願いします。

(長久 剛)



## 地域医療従事者スキルアップ研修会を開催



平成26年度診療報酬改定の重点課題に、「在宅医療の充実」があります。地域医療支援病院である当院は、高度医療提供のみならず、在宅においても継続的な医療・介護が受けられるよう「地域医療従事者に対する研修の実施」の役割を担っています。今回初めて地域医療従事者向けの研修会を企画し、平成26年5月31日に第1回目としてWOC認定看護師松本由美子師長による「ストーマケア」を開催しました。看護師・ケアマネジャー・介護士ら43名の参加者からは、松本師長の解り易い講義と、実際のストーマ装具に触れる実習に、「患者さんの苦勞・大変さを体験することが出来た。」などの意見が数多く聞かれました。在宅と病院という見えない垣根を払拭し、教育課程の違う多職種であっても協働できることを目標に、今後も実践に役立つ研修を企画開催したいと考えています。

(医療社会事業部副部長 田口 かよ子)

## 地域連携カンファレンス研修会を開催

日頃より地域医療連携課へFAXのご紹介および逆紹介などで診療にご協力いただき感謝申し上げます。地域連携カンファレンスは、地域の医療機関と連携を図り、医学・医術の発展を目的に平成18年8月14日に初回が開催されました。

その後3ヵ月毎に1回、定期的で開催され、6月19日に第24回目が開催されました。

対象は、地域の病院・医院の先生、看護師、薬剤師、コメディカルなどの医療関係の方々です。毎回2演題を各科の持ち回りで講演しています。内容は当院で行われている診療内容・新しい知識・医療機器・症例検討など各科および担当者によりバラエティに富んでいます。

皆様方の専門分野へのご参加は当然のことながら、専門以外の分野の講演にもご参加いただければ知識の幅が広がり

日常診療に役立つものと考えます。なお今までは開催のお知らせを郵送させていただいておりましたが、今回より当院のホームページで開催の予定などをお知らせするようになりました。

なお当カンファレンスに参加されますと日医生涯教育制度1.5単位が与えられます。

今後カンファレンスの内容等については皆様方のご意見を取り入れながら少しでも満足いただけるものにしていきたいと考えています。お気軽にご参加ください。

(地域医療連携推進委員長 森下 博文)



## ▶平成26年度 前期 姫路赤十字病院 研修会開催予定一覧

日程等が変更する場合がございます。ご不明な点や、お申し込みは各問い合わせ先にお電話でご連絡ください。

研修名	内容	開催場所	対象者	定員	開催日程	締め切り	問い合わせ
がん化学療法セミナー		多目的ホール	臨床研修医、医師 薬剤師、看護師等	なし ※申込み多数の場合はお断り する場合がございます。	平成26年5月15日 29日	開催終了	総合相談支援課
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会		大会議室	医師、看護師 薬剤師等	医師：24名 看護師、薬剤師等は 若干名	平成26年5月24日 25日	開催終了	総合相談支援課
地域医療従事者スキルアップ 研修会	ストーマ管理・ 皮膚管理	多目的ホール	看護師・訪問看護師 訪問介護士・ ケアマネジャー	40名程度	平成26年5月31日	開催終了	総合相談支援課
化学療法看護研修会		多目的ホール	看護師 ※がん化学療法セミナー を受講された方のみ	20名程度	平成26年6月9日 7月4日	4月25日	総合相談支援課
第24回地域連携カンファレンス	内科・耳鼻咽喉科	多目的ホール	医師、看護師 コメディカル等 医療関係者	なし	平成26年6月19日	開催終了	地域医療連携課
地域医療従事者スキルアップ 研修会	感染管理の方法	多目的ホール	看護師・訪問看護師 訪問介護士・ ケアマネジャー	40名程度	平成26年7月26日	6月27日	総合相談支援課
第25回地域連携カンファレンス	泌尿器科・ 形成外科	多目的ホール	医師、看護師 コメディカル等 医療関係者	なし	平成26年9月18日		地域医療連携課
ICLS西播磨 姫路赤十字病院コース	ICLS西播磨姫路 赤十字病院コース	会議室	医師・看護師 コメディカル	未定	未定		救命率向上部会
看護師緩和ケア研修会 (ベーシックコース)		多目的ホール	看護師	20名程度	平成26年10月 1日、28日 11月11日	9月16日	総合相談支援課
地域医療従事者スキルアップ 研修会	胃瘻等の栄養 方法	多目的ホール	看護師・訪問看護師 訪問介護士・ ケアマネジャー	40名程度	平成26年10月18日	9月予定	総合相談支援課
第26回地域連携カンファレンス	小児科・小児外科	多目的ホール	医師、看護師 コメディカル等 医療関係者	なし	平成26年12月開催予定		地域医療連携課
地域医療従事者スキルアップ 研修会	小児看護の総論 呼吸管理・気管切開 看護管理 酸素療法・呼吸リハビリ 社会資源	多目的ホール	看護師・訪問看護師 訪問介護士・ ケアマネジャー	40名程度	12月開催予定(全3回)	11月予定	総合相談支援課
看護師緩和ケア研修会 (アドバンスコース)		研修棟 1階 セミナールーム	看護師 (ベーシックコースを 受講された方のみ)	ベーシックコース 受講者の中から 希望される方	平成27年2月3日、17日、 24日		総合相談支援課
がんの早期発見に関する 研修会(超音波実技講習会)		多目的ホール	医師、 臨床検査技師等	30名	平成27年2月開催予定	1月予定	総合相談支援課
第27回地域連携カンファレンス	整形外科・ 放射線科	多目的ホール	医師、看護師 コメディカル等 医療関係者	なし	平成27年3月開催予定		地域医療連携課

## ▶看護師研修

テーマ	内容	実施場所	受入可能人数	講師	予定日	締め切り	問い合わせ	
レベル1対象 フィジカル入門③「救急看護 (BLSコース)」(半日コース)	・急変時の看護 ・救急蘇生術の基礎知識	多目的ホール	20名	医師・集中ケア認 定看護師・ACLS インストラクター	6月20日	8:30~17:00	開催終了	教育担当
周産期母子医療センター 合同研修	・乳房ケア	大会議室	20名	助産師・看護師	7月 8日	-	7月1日	教育担当
レベル1対象 看護倫理1 *(赤十字以外の方も大歓迎です)	・赤十字の基本原則 ・看護師にとっての看護倫理に ついて	多目的ホール	20名	看護係長	7月14日	14:00~15:00	-	教育担当
レベル1対象 看護とコミュニケーション 1-②「患者満足」	・コミュニケーション技法 について ・受容・共感的態度	多目的ホール	20名	看護係長	7月14日	14:00~15:00	-	教育担当
レベル1対象 フィジカル入門④「食事排泄」	・看護の視点からみるフィジカル アセスメントの基礎知識 ・食事排泄	多目的ホール	20名	認定看護師 看護係長	8月 8日	14:00~15:00	-	教育担当
レベル1対象 マインドセルフケア	・ストレスマネジメント	多目的ホール	20名	臨床心理士	9月 9日	13:30~16:30	-	教育担当
周産期母子医療センター 合同研修	・周産期の防災	多目的ホール	20名	助産師・看護師	9月 9日	-	9月2日	教育担当
レベル1対象 基礎看護技術「医療安全②」	・新人看護師が起こしやすい 事例や特徴 ・要注意薬剤について ・事故防止行動について	多目的ホール	20名	薬剤師・ (医療安全管理者) 看護係長他	10月10日	14:00~15:00	-	教育担当
レベル1対象 フィジカル入門⑤「活動休息」	・看護の視線からみるフィジカル アセスメントの基礎知識 ・活動休息	多目的ホール	20名	認定看護師 看護係長	11月 7日	14:00~15:00	-	教育担当
周産期母子医療センター 合同研修	・N I D C A P	未定	20名	助産師・看護師	11月11日	-	11月5日	教育担当
レベル1対象 看護技術シミュレーション (半日コース)	・多重課題、時間切迫状況場 面における基礎的看護技術	多目的ホール	20名	教育担当者・ 実地指導者	12月 9日 10日 11日	8:30~17:00	-	教育担当
周産期母子医療センター 合同研修	・超緊急帝王切開 シミュレーション	未定	20名	助産師・看護師	1月13日	-	1月7日	教育担当
レベル1対象 心に残った看 護場面～事例をナラティブに 書いて語ろう～	・ナラティブ事例の発表・共有	多目的ホール	20名	助産師・看護師	1月13日	13:30~16:30	-	教育担当
周産期母子医療センター 合同研修	・周産期のグリーフケア	未定	20名	助産師・看護師	3月10日	-	3月4日	教育担当



## 姫路赤十字病院の理念と基本方針

### 理 念

『わたしたちは、医の倫理と人道・博愛の赤十字精神に基づき、心のかよう安全で良質な医療を実践します。』

### 基本方針

1. 患者中心の医療  
 患者の人権と意思を尊重し、説明と同意により患者とともにチーム医療を推進します。
2. 災害医療の充実  
 国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。
3. 地域との連携  
 地域と連携し、高度専門医療・急性期医療・救急医療をとおして、地域中核病院の責任を果たします。
4. 優れた医療人の育成  
 人間性豊かな医療人を育て、教育・研修・研究の推進により、医療水準の向上に努めます。
5. 魅力ある職場づくり  
 職員の働きやすい環境づくりに努め、誇りある職場を創ります。
6. 健全経営  
 健全経営を持続し、医療活動を通じて社会に貢献します。

## 患者さんの権利と責務

患者さんの権利を尊重します。

1. 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
2. 十分な説明と情報提供を受けることができます。
3. 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 自分の意思で、治療方針を自由に選択・決定することができます。
5. 自己の診療情報の開示を求めることができます。
6. 個人情報やプライバシーの保護を受けることができます。

患者さんには安全で良質な医療を受けるために守っていただくことがあります。

1. 患者さんの健康に関する情報を正確に提供してください。
2. 診療内容を十分理解し、納得した上で医療を受けてください。
3. すべての患者さんが適切な治療を受けられるよう、病院の規則や指示を守ってください。

## ■ 編集後記

この夏は5年ぶりにエルニーニョ現象が発生する可能性が高いとの見通しで、エルニーニョ現象が発生すると冷夏になる可能性が高いそうです。梅雨の季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。「姫路赤十字病院だより」を発行し1年が経ちました。発行に伴い多くの方々のご支援をいただき継続ができています。今後もより一層、姫路赤十字病院の魅力が地域の先生方に伝わり更なる連携に貢献できればと思います。今後ともご愛読していただければ幸いです。

(広報委員会 前田 智成)

